

静岡県東部地域企業経営動向調査

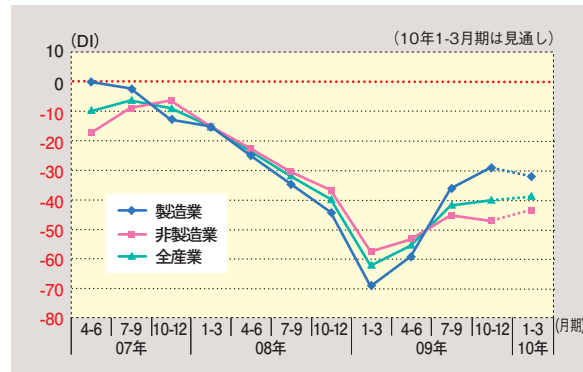
(2009年10-12月期実績、2010年1-3月期見通し)

1 業況概要 (自社)

製造業はDIの上昇続くも、非製造業はわずかに低下

静岡県東部地域における2009年10-12月期の業況判断DI(対前年同期比)は、全産業で-40.2(前期-42.0)とわずかながら上昇した。うち、製造業の業況判断DIは-29.1(同-36.2)で前期に続き改善されているが、非製造業では-47.2(同-45.3)とわずかに低下している。製造業では利益動向DIが3期連続して上昇するなどの動きもみられ、製造業と非製造業との間で改善の程度に差が出てきている。

2010年1-3月期の予想DIは全産業で-39.0とわずかながら上昇を見込んでいるものの、製造業で今期比若干低下するなど先行きに対する慎重さがうかがわれる。



業種別天気図



(10年1-3月期は見通し)

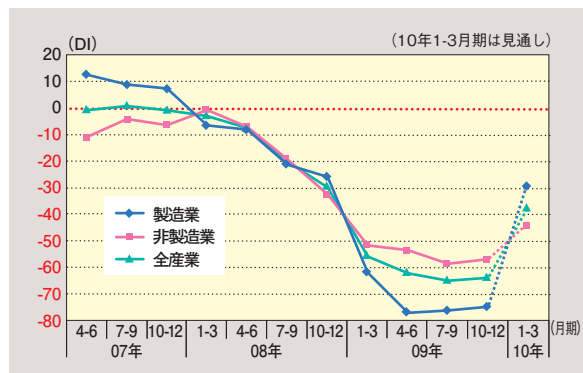
	製造業	食品	紙・パルプ・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2009年7-9月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
2009年10-12月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
2010年1-3月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔

2 売上動向

引続き低水準も来期の予想DIは大幅な上昇見込む

2009年10-12月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-63.9(前期-65.0)とわずかながら上昇に転じたが、引続き低い水準にとどまっている。うち、製造業では食品でやや上昇、パルプ・紙・紙加工品でやや低下し、全体DIは-74.8(同-76.2)となった。また、非製造業では旅館・その他宿泊所やその他小売・サービス業等でDIが上昇、建設業では下落し、全体DIは-56.9(同-58.6)となっている。

一方、2010年1-3月期(見通し)の予想DIは全産業で-38.0と大幅な上昇を見込んでいる。うち製造業では-29.1と特に上昇幅が大きく、期待感が示されている。また非製造業も-43.8と今期比大幅な改善を見込んでいる。

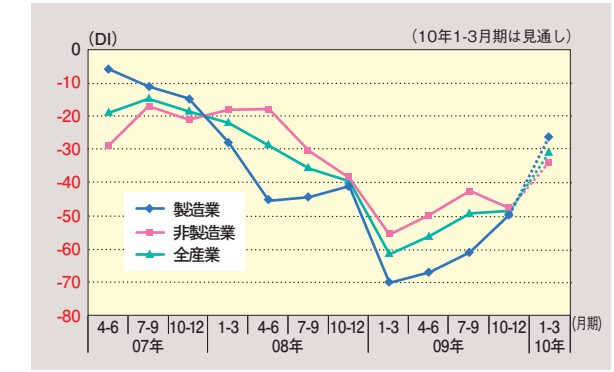


3 利益動向

製造業では連続してDI上昇、非製造業は低下

2009年10-12月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-48.5(前期-49.3)で、前期比ほぼ横ばいで推移した。うち、製造業は食品でDIが大幅に上昇し、金属製品などでもやや上昇したため、全体DIは-49.5(同-61.0)と3期連続で上昇している。一方、非製造業では建設業でDIが悪化し、その他の業種では概ね横ばいで推移したため、全体DIは-47.8(同-42.5)と低下した。

2010年1-3月期(見通し)の予想DIは、全産業で-31.1と今期比大幅な上昇を見込んでいる。うち、製造業の予想DIは-26.2、非製造業は-34.2といずれも上昇を見込み、先行きへの期待感が出ている。



4 経営上の問題点

「回収条件の悪化」が問題点として浮上

「受注・売上の停滞・減少」(78.0%)と「過当競争・製品安」(48.9%)が上位を占める状態は今期も変わらないが、「過当競争・製品安」の比率がやや上昇している。この他では、前期いったん上昇した「原材料・仕入商品の値上がり」はほぼ横ばいで推移した。一方で「回収条件の悪化」が問題点として浮上している。特に非製造業での指摘が目立ち、資金繰り等経営環境の悪化した企業の増加が懸念される。

「受注・売上の停滞・減少」(78.0%)と「過当競争・製品安」(48.9%)が上位を占める状態は今期も変わらないが、「過当競争・製品安」の比率がやや上昇している。この他では、前期いったん上昇した「原材料・仕入商品の値上がり」はほぼ横ばいで推移した。一方で「回収条件の悪化」が問題点として浮上している。特に非製造業での指摘が目立ち、資金繰り等経営環境の悪化した企業の増加が懸念される。

(社、%)

	09年4-6月期		09年7-9月期		09年10-12月期		順位変動
	企業数	比率	企業数	比率	企業数	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	238	81.0	228	79.7	206	78.0	→
2. 過当競争・製品安	139	47.3	130	45.5	129	48.9	→
3. 人材の育成	86	29.3	94	32.9	87	33.0	→
4. 従業員の高齢化	57	19.4	57	19.9	52	19.7	↑
5. 生産・販売能力の不足	61	20.7	68	23.8	50	18.9	↓
6. 人件費の増加	48	16.3	41	14.3	44	16.7	→
7. 原材料・仕入商品の値上がり	33	11.2	41	14.3	36	13.6	↓
8. 回収条件の悪化	22	7.5	28	9.8	30	11.4	↑

※この他、今回は「2010年の見通し」についても特別調査を実施しております。調査結果は弊所ホームページをご参照下さい。

調査の概要

1. 調査目的/静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業/静岡県東部地域に立地する企業1,005社 回答数264(回答率26.3%)
3. 調査方法/当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間/実績:2009年10-12月期 見通し:2010年1-3月期
5. 調査時点/2009年11-12月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇/増加/好転」した企業割合から「下降/減少/悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標